

令和8年度 第1回 静岡県立浜松湖南高等学校 学校運営協議会議事録

1 日時 令和8年5月29日（金）

2 場所 静岡県立浜松湖南高等学校 会議室

3 委員（敬称略）

小杉 大輔（静岡文化芸術大学教授）

坂田 雄章（元自治会副会長・元中学校長）

白柳 健司（浜松国際交流協会事務局長）

杉山 哲也（学校法人河合塾浜松校校長）

日笠山一宏（令和7年度PTA会長）

松本 雅美（ムンド デ アレグリア学校 理事長兼校長）

柳原 辰彦（雄踏協働センター所長）

＊事務局（学校職員）

佐藤敦校長、岡本多佳子副校長、山崎一憲教頭、鈴木寛子事務長

大村浩之教務主任、土屋尚子生徒指導主事、竹内慎司進路指導主事

4 次第

(1) 校長挨拶及び学校運営委員任命

(2) 自己紹介

会長及び副会長選出

会 長 日笠山一宏委員

副会長 坂田雄章委員

(3) 令和8年度学校経営計画書について

〔学校長説明〕 学校経営計画「目指す学校像」・令和8年度の取組

《「目指す学校像」の委員による承認手続き》 ⇒ 承認

(4) コンプライアンスについて

〔副校長説明〕 不祥事根絶取組計画、教職員の生徒指導に係る共通ルール

《委員質問・意見》

- ・共通ルールの内容としてはセクハラ対応となっている。不祥事の多くはアカハラであり、授業内の教員の言動、部活動中に注意が必要である。日常の注意喚起をして未然に防ぐことが大切である。

(5) 令和7年度本校の教育活動について

[生徒指導主事説明] 部活動報告

[進路指導主事説明] 進路状況

《委員質問・意見》

- ・毎年、浜松市立看護専門学校に浜松湖南高校から10人くらい入学している。浜松湖南高校に期待している。
- ・共通試験の平均点が下がっているのに湖南高校は国公立合格者の人数は例年程度である。しっかり学力がつけられていると安心した。

[副校長説明] ムンド校/英国ヘンドン/明道高級中学

《委員質問・意見》

- ・ヘンドン校に行くのは普通科生徒も行くのか。語学留学で英語力が飛躍的に伸びるのかどうか。

(学校回答) 普通科生徒も参加できる。事後アンケート等で、「習ったことを使えて自信になった」「文化の違い、反応の違いを学べた」「宗教の違いを感じた」といった感想が出ており、英語力以外の学びもできている。英語科はオーストラリアでの語学留学も含めて3年間かけて英語力が伸びる。

[教頭説明] 躍進湖南-新聞で見る浜松湖南高校の活動-

(6) 校内見学

(7) 意見交換

《委員質問・意見》

- ・どのような生徒を育てていきたいのか、先生と生徒が考えていかないといけない時代である。
- ・活発な前向きさが伝わってくる。学校としては定員割れしたことで不安はあるかもしれないが、進路体制が整っている点はよい。
- ・コンプライアンスを意識すると教職員が手を引いてしまったり、委縮してしまったりする。ぐいぐい引っ張るメンターとなる教職員がいると職場の雰囲気も変わる。
- ・新入生の定員割れが20名あったことについて、そこまで減ったのかと意外に感じた。鉄道駅が近い学校で何が要因なのかと感じている。浜松南高校の新校舎も要因の一つかもしれない。学校裁量枠を生かして、何か一つでも強豪の部活動があれば学校全体で一体感がでる。
- ・先生たちは十分にやれることをやっている。定員割れをしたとはい

え、公立であるのであれば経営は安定している。生徒が減っても、これだけの良い生徒がいるので、教育の質があがればよい。

- ・「主体性・自らをデザイン」が身につくことにプラスして、自分自身を知ることが大切である。何が好きなんだろうと、もっと内面を見つめることが自分を知ることになる。外に答えを求めるのではなく、自分を自覚する時期であり、主体性は成長の根幹となる。
- ・英語科の生徒の進学先が伝わってきていないので、もっと大々的にアピールしたらよい。
- ・今の段階でも実績がでている。もっと将来について具体的に路線が見えていて、筋道が描けているといい。
- ・浜松にとって、他地域へ進学してもいずれ浜松に戻って活躍して欲しいという思いがある。湖南の生徒は生き生きと学校生活をし、勉強以外にも取り組んでいてバランスが取れている。どこの学校も定員割れにより同じような課題を持っている。
- ・進学実績については、目指すところまでできている印象がある。高校ものんびりしていて、こんないいことはないと言っていた湖南の卒業生を知っている。素晴らしい高校であることに間違いはない。
- ・今後は理系を志す人材が増えないと厳しいと感じている。理系のことが好きになるような教育を取り入れていく必要がある。
- ・湖南高校で過ごすなかで、中学時代よりも人とオープンに関わることができるようになった卒業生がいる。過ごしやすさとしては極めて普通の学校だと思うが、それも大切なことである。

(8) 諸連絡